

中国語ならびに韓国語翻訳用邦文案

### 天之磐扉（あまのいわと）・（天の安河原の場）

太陽が復活する物語りです。暗くなった世界が再び明るくなった、という物語りです。神楽という芸能の起源を伝える物語りです。太陽神の心を慰め、太陽神の再登場を願う物語りです。

01：天照大御神（あまてらす）という女性神が高天原（たかまがはら）という聖なる世界で暮らしていた。

高天原は、高貴な神々が暮らす場所だと認識されています。

02：天照大御神には、弟がいます。弟の名は須佐之男命（すさのおのみこと）といいます。

03：弟が姉の暮らす、高天原を訪問しました。最初、姉は弟の訪問を警戒していましたが、彼の訪問を許しました。

04：しかし、弟は、とても乱暴な男でした。高天原で、大暴れして多くの神々に迷惑をかけました。

05：天照大御神は、弟の乱暴な行動に対して悲しみ、怒りました。そして、彼女は、岩穴に隠れ、石の扉で穴を閉じてしまいました。

06：彼女は太陽神です。したがって、太陽神が岩穴に隠れたので、世界は闇の世界になりました。

07：闇の世界には、いろいろな災いが起こりました。

08：高天原に暮らす神々は、天之安河原という場所に集まり、岩穴から太陽神を戻す計画を相談しました。

09：天之思兼命（おもいがね）という思慮深い神様が、天照大御神（あまてらす）の気持ちを慰める計画を提案しました。

10：天之鈿女命（うずめ）という舞や踊りが上手な女性神がいます。

彼女に岩穴の前で踊ってもらおう、と提案しました。

11：彼女は天照大御神（あまてらす）を慰めようと、舞い、踊りました。

12：彼女の舞い、踊りを見て喜ぶ神々の声を天照大御神が聞きました。

13：天照大御神は、岩の扉を少し開いて、外の様子を眺めました。

14：扉の前には、怪力で有名な手力男命（たじから）という神様が待っていました。彼は、石の扉が少し開いたので、重い大きな岩の扉を持って、遠くに投げつけてしまいます。

15：天照大御神（あまてらす）は、岩穴が出てきました。そして、世界は再び明るくなりました。再び、平和な世界に戻りました。